

第3章

政策展開の基本方針



横須賀市立横須賀総合高等学校3年 中川 舞さん「三月」
第11回高校生国際美術展 佳作
(学校名、学年は平成22年度)

第3章 政策展開の基本方針

1 横須賀を取り巻く環境変化への対応の必要性

第1章で述べたように、前基本計画を策定した1998年（平成10年）当時からは横須賀を取り巻く社会経済環境は大きく変化しており、特に、人口減少、少子高齢化、財政状況の悪化などは、当時想定していた以上に深刻の度を増しています。

こうした状況に的確に対応するため、本基本計画では、政策展開を図る上での根底に流れる基本方針を定めます。

2 政策展開の基本方針

まちの営みを支える源泉は「人」であり、都市活力を生み出す最大の資源『人財（じんざい）』です。

横須賀が厳しい状況に打ち勝ち、活力や魅力を維持・増進していくためには、人を育てること、人の力を生かすこと、さらには、それらの人とどめ新たな人を呼び込むことに、全力を挙げて取り組んでいかなければなりません。

そこで、以下に示すとおり、「（1）未来を支える人材の育成」、「（2）高齢者の活力が生かされる社会の実現」、「（3）人を引き付ける魅力の創出」を、第4章から第6章の全政策に共通する「政策展開の基本方針」とします。

（1）未来を支える人材の育成

子どもたちは、まちの宝であり未来を支える貴重な力です。少子化により絶対的な数が減る中で、それを補い、都市活力の維持・増進を図っていくには、一人一人が持つ能力と資質を向上させ、最大限に発揮することが求められます。このため、「未来を支える人材の育成」に取り組みます。

（2）高齢者の活力が生かされる社会の実現

加速し続ける高齢化が医療、介護など社会保障経費の増加の要因となっている一方で、気力、体力、知識を備え、経験も豊富な高齢者も確実に増えています。今後、高齢者が数、割合ともにさらに増加する現実を踏まえれば、高齢者の活力が十分発揮されることが、横須賀の未来を開く鍵となります。このため、「高齢者の活力が生かされる社会の実現」に取り組みます。

(3) 人を引き付ける魅力の創出

横須賀は、都市の利便性、古くから築かれた産業基盤、豊かな自然、誇れる歴史・文化など、快適な都市生活を営むための要素を数多く備えています。これらの強みをさらに発揮して、まず第一に横須賀に住んでいる人が「住んでいて良かった」、「住み続けたい」と思える環境をつくるのが重要です。そして、住んでいる人が満足して暮らしている環境は他地域の住民の目にも魅力的に映り、集客・定住や企業の誘致につながっていきます。このため、「人を引き付ける魅力の創出」に取り組めます。



